

平成28年第4回黒部市議会9月定例会

一般質問（代表・個人）通告要旨

■一般質問（代表）

質問順	会派名 質問議員	質問事項	答弁者
1	日本共産党 橋本文一	<p>1 (仮称)くろべ市民交流センター建設について</p> <p>(1) いま複合化しようとしている施設の老朽化は、誰もが認めるところである。また、それぞれの施設の建て替えを望んでいる方々も大勢いられることもよくわかる。しかし、図書館・市民会館・働く婦人の家・三日市公民館・キッズスペース等を、なぜ、複合化して建設をしなければならないのかとの市民の声がある。せめて、図書館だけは単独で建設すべきとの声もある。私も、複合化による図書館の建設を、いま一度、検討すべきと思うが、どうか</p> <p>(2) それぞれの地区公民館は住民自治の拠点となる施設である。いま計画中の図書館をコアとした施設内での三日市公民館建設に、三日市地区の住民は納得しているか</p> <p>(3) これまでにも、公共施設等の建設によって、三日市商店街の活性化になると言われてきた。この間の現状をどのようにみているか。また、交流の場となる必要性が、図書館に求められるのか</p> <p>(4) 近隣の自治体では、図書館建設を複合施設でとの計画であったが、住民や議員との協議によって、図書館が単独で建設された。また、ある自治体では、木造3階建ての小学校を建築するとのことである。私は、いまの市民会館を解体し木造建築による図書館を、単独で建設することも検討すべきと思うが、どうか</p>	市長  市長  市長  市長
2	新樹会 川本敏和	<p>1 第2次総合振興計画と戦略Kについて</p> <p>(1) 第1次総合振興計画は残すところ約1年半になったが、その総括や評価をどのように考えているのか</p> <p>(2) 第1次総合振興計画では、黒部宇奈月温泉駅周辺整備や黒部庁舎建設等ハード事業に重点を置いたと考えるが、市民と行政が一体となったまちづくり等のソフト事業の評価は</p> <p>(3) 戦略Kにおける企業誘致が進められているが、新石田企業団地における誘致採用基準はなにか。例えば雇用や税収等に選定のウェイトをおくのか、あるいは、将来性や環境への取り組み等にウェイトをおくのか</p> <p>(4) 新石田企業団地周辺道路等のインフラ整備や近隣企業等を含めた4車線化を見据えた8号バイパスへの具体的なアクセス道路整備等は</p> <p>(5) 第2次総合振興計画におけるメインとなるハード事業の計画は</p> <p>(6) 公共施設等総合管理計画で示された建物系(はこもの)社会基盤系(インフラ)の更新費や長寿命化整備、維持管理費等の財源を第2次総合振興計画で示す必要があるのでは</p>	市長  市長  市長  市長  市長

質問順	会 派 名 質 問 議 員	質 問 事 項	答 弁 者
2	新樹会 川 本 敏 和	<b>1 第2次総合振興計画と戦略Kについて</b> (7) 本市の都市計画道路等の整備が途中で進んでいない箇所があるが、第2次総合振興計画で前進させる気概はあるか (8) 戦略Kは、地方の人口減少対策を短期的に集中させた施策が推進されているが、第2次総合振興計画にどのようなまちづくり方針として反映させるのか	市 長  市 長
		<b>2 くろべ牧場まきばの風の経営再建について</b> (1) くろべ牧場まきばの風経営の高度化と交流拠点の創造を掲げ2年余り、牧場経営状況と課題は (2) くろべ牧場は畜産事業とふれあい事業の2本柱があるが、基本目標として掲げた今年度の収益は確保できるのか (3) 大規模な酪農事業を展開している農家を視察してきたが、搾乳事業では徹底した自動化や合理化が図られていた。くろべ牧場における取り組みは (4) くろべ牧場は、富山湾や能登半島が一望できる立地条件での観光牧場の魅力が高いが、イベント等の来場者の状況と課題は (5) くろべ牧場は、平成30年10月以降に2市の負担金がなくなり実質の自立経営となるが、その経営計画は (6) くろべ牧場の牛舎は、老朽化率が113%以上であり耐震化への対応が必要である。これらを含めた施設設備等の投資計画は	市 長  市 長  市 長  市 長  市 長

■一般質問（個人）

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
1	橋本文一 (一括方式)	<p><b>1 林道の整備について</b></p> <p>(1) 3月定例会での前部長の答弁では、「林道は、多面的機能を有する森林の適正な整備及び保全を図り、効率的かつ安定的な林道経営を確立するために必要な施設として位置付けており、山村地域の交通路として地域住民の交通や物資の運搬、森林へのアクセス確保など山村地域の振興や生活環境の改善等の役割をはたしている」また「林道本来の役割や、安全が確保できるよう、定期的・計画的に実施し適切な維持管理に努める」とも述べている。その上に「林道の維持管理については、前年度よりも予算確保につとめた。計画的に適正な維持管理に努める」とまで答弁されている。しかし現状では、基幹となる林道でも草刈等行われていないのではないかと。現状をどのように把握しているのか。</p> <p>来年5月に富山県において、第68回全国植樹祭が行われるが、森林や林業を守っていく要の林道である。せめて草刈りだけでも定期的に行うべきではないかと。改めて伺う</p> <p><b>2 特別養護老人ホーム越野荘上部、山田新用水の暗渠化と土砂採掘について</b></p> <p>(1) 大型で強い台風10号は、北海道や東北地方に甚大な被害をもたらした。特に岩手県では、岩泉町の高齢者グループホームで9人が亡くなるなど、死者は16人、行方不明者7人、また北海道では死者2人、行方不明者2人となっている。改めて自然の驚異を見せつけられた。「特別養護老人ホーム越野荘は大丈夫か、山田新用水の暗渠化はどうなったのか、早急に進めなくては」との市民の声である。29年度には事業化ができるのか</p> <p>また、越野荘上部での山土砂採掘について、安全面や景観においても、市として許可を出さないようにと声が多い。市としての考えを改めて伺う</p> <p><b>3 安全・安心の道路建設について</b></p> <p>(1) 黒部宇奈月縦貫道路は新幹線開業に合わせ、8号バイパスから若栗中村地内まで、暫定2車線で供用されている。市内外の方々から、「せめてコーレ前だけでも4車線道路として供用してはダメなのか」との質問を受ける。4車線道路として供用できないのはなぜか。また、市内の市道や県道には安全対策のためだと思うが、あまりにも衝撃吸収タンクの設置が多いように見受けられるが、タンクの数だけ危険箇所があると判断してよいのか</p> <p>(2) 県では、黒部宇奈月縦貫道路の延伸についての路線説明会がおこなわれた。事業そのものは県である。市としてこれから予想される地権者の要望や住民要望に取り組んでいかなければならないと思う。市の取り組みの考え方はどうか</p>	<p>産業経済部長</p> <p>産業経済部長</p> <p>市長</p> <p>都市建設部長</p> <p>都市建設部長</p>

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
1	橋本文一 (一括方式)	<b>3 安全・安心の道路建設について</b> (3) 若栗地内から延伸予定の縦貫道路は、農業振興地域の田圃を大きくS字カーブを描いて建設されるため、三角田のような耕作困難な田圃が発生することになる。そもそも、農業振興地域とはどのような地域なのか、伺う (4) 予算特別委員会等で三日市大黒町地内を通る「県道黒部宇奈月線」の融雪装置について質問をしてきた。水の出ない県の融雪装置や市の融雪装置について改善を図るよう指摘をしてきた。現在どのような状況なのか	産業経済部長  都市建設部長
2	高野早苗 (一括方式)	<b>1 北方領土返還運動の取り組みについて</b> (1) 先月の8月28日に姉妹都市提携40周年を記念して「友情の証」の調印式が根室市で行われましたが、あの時臨まれた市長の率直な気持ちについて伺います (2) 北方四島の歴史、文化、生活はこれからも引き継がれていくべき大切な社会の教育だと思いますが、この度の式典にも参加された教育長はどのように考えておられるのか伺います (3) 千島歯舞諸島居住者連盟の元島民の皆様の思いをどのように受け止め、今後の支援について伺います (4) ロシアのプーチン大統領の訪日が提案理由でもふれられていましたが、どのような期待感を持っておられるのか伺います  <b>2 女性の視点から見た防災対策について</b> (1) 防災会議への女性の参画率について、本市及び県内の状況について伺います (2) 備蓄品の内容が市民にわかるシステムにできないでしょうか。また、「東日本大震災」や「熊本地震」では、生理用品や紙おむつやトイレトーパーが特に不足したとのことですが、本市の状況について伺います (3) 備蓄品には賞味期限があります。防災について家庭で話し合い、家庭の備蓄品を更新するためにも「災害食を食べる日」を黒部市カラーで設定できないか伺います (4) 高齢者や障がい者が緊急時に周囲に支援を求めるヘルプカードの効果が注目されはじめていますが、本市で導入できないでしょうか (5) 「男女共同参画の視点からの防災・復興の取組指針」に対する見解、並びに防災訓練、防災計画、防災会議への反映意向について伺います (6) 女性防災士や女性リーダーの育成を強化し、将来的には「防災女性の会」などを立ち上げできないか伺います	市長  教育長  市長  市長  総務企画部長  総務企画部長  市長  市民生活部長  市長  市長

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
3	伊東景治 (一括方式)	<b>1 上下水道事業について</b> (1) 上水道の普及について、これまでの取組みと普及率の推移について (2) 水道未整備区域に対する上水道への加入促進について (3) 上水道への統合事業について (4) 火災を含めた災害への取組みについて (5) 下水道事業の整備状況について (6) 今後の下水道事業の展開について (7) 人口増加がなかなか期待できない状況の中で、今後の上下水道事業はどうあるべきと考えるか	上下水道部長  上下水道部長  上下水道部長  上下水道部長  上下水道部長  上下水道部長  市長
		<b>2 黒部の教育と文化芸術を通じた地域活性化について</b> (1) 次世代の学校創生の中で、アクティブ・ラーニングについて予算化されるようであるが、アクティブ・ラーニングの目的、効果、展開について (2) 現在芸文協を中心にして開催されている芸術・芸能等の分野を含めて、黒部市総合芸術祭として、年間を通して開催してはどうか (3) モーツァルト音楽祭について 現在の運営のあり方と、今後の(資金的な)見通しは (4) 黒部の合唱への取組みについて 北方領土の学習の機会に、根室が取り組んでいる合唱曲「銀河鉄道の夜」を取り入れてはどうか	教育長  教育長  教育長  教育長
4	村井洋子 (一括方式)	<b>1 地域支え合い事業について</b> (1) 各町内会公民館などに於いて、週1回が基本とされた支え合い事業。市の方針は変わっていないのか (2) この事業は各地区全町内会で行なわれるのが望ましいが可能と考えているか (3) 健康増進課が進める「地域リハビリ事業」は月1回の取組みだが、市内での取組み状況は (4) 介護予防を本気で進めるには、各地区に地域人材を活用した専任のコーディネーターを配置すべきではないか	市民生活部長  市民生活部長  市民生活部長  市民生活部長
		<b>2 鳥獣被害対策実施隊の活動について</b> (1) 市町との連携によるサルやクマ、イノシシなどの一斉追い払いは考えられないか (2) 銃は他市町へ持っていけないというが、連携する場合は、警察などの許可を市がつなぐことは出来ないか	産業経済部長  産業経済部長

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
5	成川正幸 (一問一答方式)	<b>1 「黒部市障がい者計画」について</b> (1) 現在の相談窓口の現状はどうか。また「相談支援体制の充実」として今後の取り組みをどのように考えているのか (2) 気軽に相談できる窓口。分かりやすい場所にあれば周知・啓発にも繋がっていくと思うがどうか (3) 現在、障害福祉サービスの周知方法はどのようにしているのか。障害福祉サービスを知ってもらうために黒部市として内容が分かりやすいガイドブックを作成してはどうか (4) 基本的施策も示されている差別の解消の推進では、法律や県条例の理解を深めるための研修や啓発活動、市職員対応要領の実施状況はどうか (5) 就労継続支援事業、就労移行支援事業等の充実を図るとある事からも黒部市にも就労移行支援施設が必要だと考えるが、どうか。また、市としての就労移行支援施設の設立支援の考えはないか	市民生活部長  市民生活部長  市民生活部長  市民生活部長  市民生活部長
		<b>2 地籍調査の推進について</b> (1) 本市の現状はどうか (2) 地籍調査が実施、未実施のメリット・デメリットは (3) 今後、高齢化が進んでいる地域では、空き家が増えてくると想定されるが、そうなる前に取り組んだ方がよいのではないかと思うがどうか (4) 現在、公共施設再編から固定資産台帳の整理が行われているが、公共地の適正管理の面で支障があるのではないか。また、今後のまちづくりをする上で問題にならないか (5) 本市において、地籍調査が進んでいない理由は (6) 地籍調査が進んでいる他自治体と本市と何が違うのか (7) 地籍調査の趣旨、方法、メリット・デメリットが市民に理解されているのか。また市民に周知方法はどうか	都市建設部長  都市建設部長  都市建設部長  総務企画部長  都市建設部長  都市建設部長  都市建設部長
6	谷口弘義 (一問一答方式)	<b>1 学校プールについて</b> (1) 保護者から「こどもが利用している学校のプールが年数が経つのか汚れが目立つ。更新などの整備が必要。」との要望がある。今年度石田小学校のプールが更新されると聞いている。昭和50年代につくられたプールもある。今後の更新予定はどうか (2) 更衣室の換気が悪く蒸し暑い。床が滑りやすいと、指摘があった。換気設備のない更衣室がある。換気扇の設置状況はどうか。換気扇の設置が必要と考えるが、どうか (3) 保護者から「こどもの肌がかぶれる症状が出ることもある。水が臭うときがあるとこどもが言っている」との声が寄せられた。プールには塩素が注入されているが、その測定方法は決められているのか	市長  教育長  教育長

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
6	谷口弘義 (一問一答方式)	<b>1 学校プールについて</b> (4) 保護者から「プール内に青藻が目立つことがある」との声が寄せられた。シーズン中の清掃と水の入れ替えは必要と考える。清掃と水の入れ替えの指針はあるのか。せめて1回ぐらいは水の入れ替えが必要と考えるが、どうか	教育長
		<b>2 学童保育について</b> (1) 平成27年4月から学童保育の入所条件が6年生まで受け入れることに国の制度が変わった。改正前の平成26年と現在では保育人数も変わってくる。保育人数はどう変わったのか。平成27年度の学童保育の問題点として、市内11の学童保育のうち面積基準、静養室の確保が困難な学童保育が8カ所も記載されている。今年度まで何カ所解決されたのか。今後の予定はどうか (2) 指導者の人数が保育児童に対して一定していない。指導員1人で、適切な学童の対象を何人と考えるか。現状はどうか (3) 指導員の時給は800円～900円となっている。ほとんどの学童保育は800円となっている。800円程度の時給が適当と考えるか。指導員の通勤費は支給されるべきものとするが、どうか。現状はどうか (4) 指導員の身分保障、社会的地位の向上等の処遇改善を進めるべきだ。このことは、学童保育の運営委員会任せでなく、市が責任を持って行うことが必要だが、これまで具体的な検討はされたのか (5) 5月25日に開かれた黒部市議会報告会に、学童保育運営委員会、地区自治振興会から連名で学童保育運営について、「市は、各校区の学童組織に対し、ほぼ運営に対し自由にやって下さい状態で、市としての方針や関わりが余りにも少なく、今後の継続性と経営基盤と平等なサービスの上でも、もう少し市としての学童保育のルールや関わりを打ち出していただけませんか。」との要望が出された。この要望は、今の学童保育に対する市の姿勢が問われている。市の考えを聞きたい (6) 中央小学校の学童保育施設が77名分増設されることになった。利用する学童が大幅に増えることが予想される。指導員の確保は、運営委員会任せでなく、市が責任を持って行うことが必要と考えるが、どうか	市長  市民生活部長  市民生活部長  市長  市長  市長
7	山田丈二 (一括方式)	<b>1 小中学校再編について</b> (1) 統合された桜井小学校の通学経路(前沢地内県道本野三日市線)の安全対策は (2) 部活動(中学校)に派遣されている外部指導員の実態は (3) 「次世代の学校」指導体制実現構想とは(特に部活に関して) (4) 部活の競技力向上に向け、外部指導員への期待(思い)は	都市建設部長  教育部長  教育部長  教育長

質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
7	山田 丈二 (一括方式)	<p><b>2 一般国道入善黒部バイパスについて</b></p> <p>(1) バイパス全区間(L=16.1KM)の本年度の取り組み状況(情報)は</p> <p>(2) バイパスの4車線化までに、施工・財政面から比較的早く効果を見る区間に先行して追い越し(付加)車線設置を主体的に要望を</p>	<p>都市建設部長</p> <p>市長</p>
8	川上 浩 (一問一答方式)	<p><b>1 2020年までの世界ジオパーク認定に向けた今後の取組について</b></p> <p>(1) 民間主導の立山黒部ジオパーク協会とそれを支える県東部9自治体で組織する支援自治体会議がどのように関わり合いながら、世界ジオパーク認定に向けた取り組みを進めてきているのか</p> <p>(2) ジオパーク新潟国際フォーラムに参加し、2015年11月にユネスコプログラムに組入れられ、ユネスコブランド化により国際ジオパーク認定へのハードルが高くなったような感じがした。ユネスコブランド化への新たなハードルとはどのようなものか。そのためにはこれまで以上にどのような活動が求められるのか</p> <p>(3) 2020年までの認定を目指したロードマップを示されたい。協会、支援自治体が一体となった活動に一抹の不安を感じずる声を聴くが、支援自治体会議の会長として、さらに一步踏み込んだリーダーシップが求められるのではないか</p> <p><b>2 今後の防災訓練の在り方について</b></p> <p>(1) 今年は浦山地区を会場として防災訓練が実施された。新たに避難所の設置と運営訓練も取り入れられたとのことであった。今回の検証をどのようになされているのか</p> <p>(2) 平成19年度から10回の防災訓練を重ねてきたが、その間全国で幾多の大きな災害が発生してきている。訓練内容などはどのように見直されてきたか</p> <p>(3) 地区住民の防災意思の啓蒙を図る意味においても、全地区での実施が望ましいと考える。またこれまでより「見せる訓練から現場型訓練へ」を進めるべきと思うが、今後の計画はどのようになっているか</p> <p>(4) 地域の実情に即した想定を提供し、地区における自主防災訓練実施への誘導が必要ではないか</p>	<p>市長</p> <p>市長</p> <p>市長</p> <p>総務企画部長</p> <p>総務企画部長</p> <p>総務企画部長</p> <p>市長</p>
9	辻 靖雄 (一括方式)	<p><b>1 「8.6広島平和記念式典」に初めて出席されての所感は</b></p> <p>(1) 出席しての所感は</p> <p>出席しての所感は</p> <p>(2) 子供達への平和教育に対する思いは</p> <p>子供達への平和教育に対する思いは</p>	<p>市長</p> <p>教育長</p> <p>市長</p> <p>教育長</p>



質問順	質問議員 (質問方式)	質問事項	答弁者
9	辻 靖 雄 (一括方式)	<b>2 食文化の向上の取り組みについて</b> (1) 仮称「くろべ市民交流センター」の中に、90㎡位の調理研修室の設置を (2) 食生活改善推進協議会に対する強力な支援を (3) 食品ロス削減の取組みは	市長  市長  市民生活部長
		<b>3 ヒラメを黒部ブランドとして強力にアピールを</b> (1) 黒部の水産業の現状と課題は (2) ヒラメの稚魚放流の拡大策は (3) ヒラメの食べ方の工夫とPRは (4) 進化する冷凍庫の設備支援は (5) 消費拡大へ3者の協議会の推進策を (6) 「さかなクン」を招待して黒部のヒラメの宣伝企画を (7) 「守り」から「攻め」の水産業プランは	産業経済部長 産業経済部長 産業経済部長 産業経済部長 産業経済部長 産業経済部長 市長

○一括方式とは

議員が質問項目すべてについて一括して質問し、市長や各部局長が一括して答弁する方式

○一問一答方式とは

議員が質問項目一問ごと(小項目)に質問し、市長や各部局長がその都度答弁する方式